



独立行政法人教職員支援機構

教職員支援機構（NITS：ニッツ）の事業

全国の教職員の資質向上を図るため、

全国の教職員への総合的支援を行う中核拠点となり、

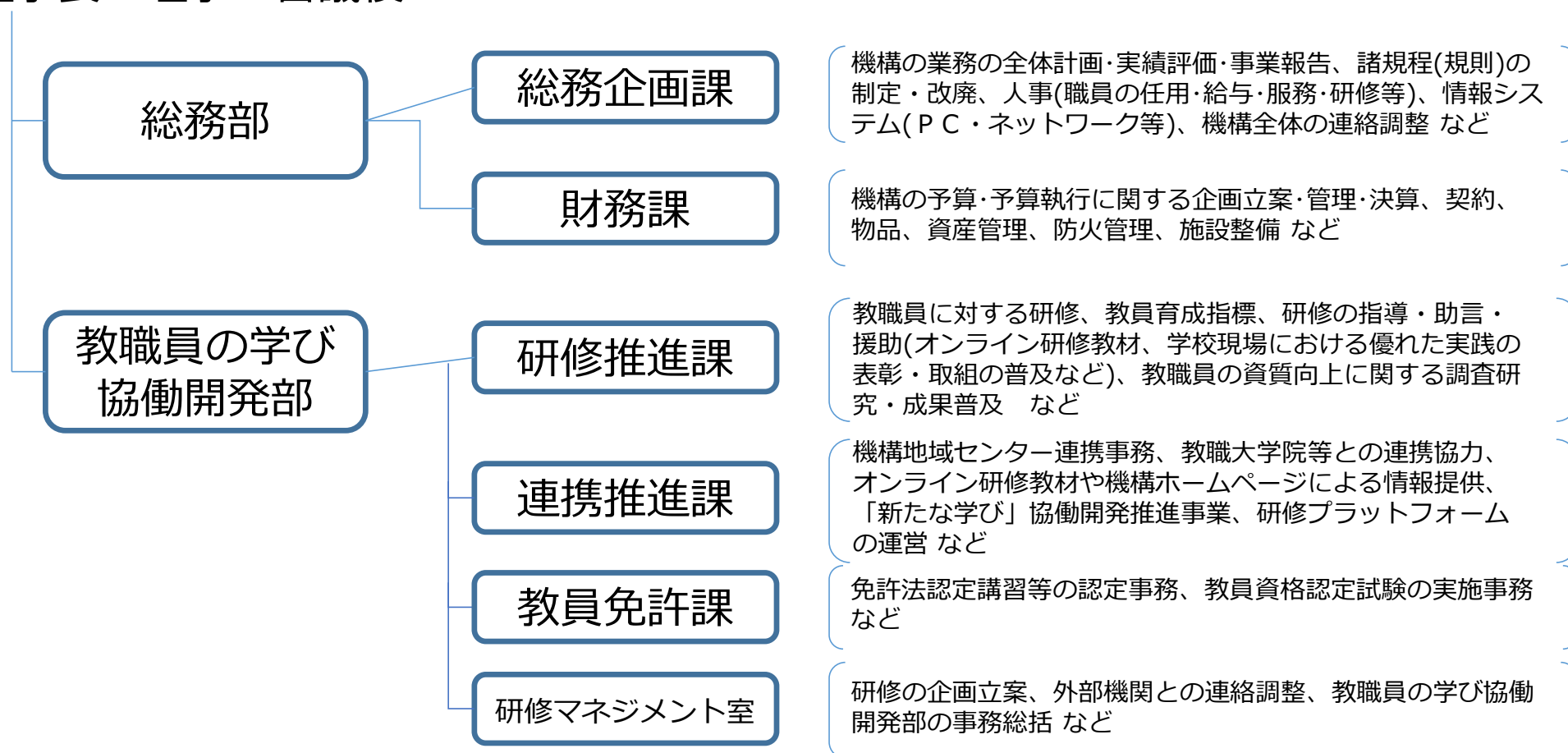
- 1) 教職員に対する研修の実施
 - 2) 研修コンテンツの配信
 - 3) 教職員の資質向上に関する調査研究
 - 4) 教員免許に関する事業
 - 5) 新たな教職員研修開発に係る企画立案・実施 など
- を実施しています。

詳しくは、教職員支援機構ホームページ（<https://www.nits.go.jp>）をご覧ください !!

仕事内容について（令和6年度）

教職員支援機構の役割を果たすため、各部課・室の所掌する事務(文書の作成・発出・保存、計画・立案、各種調査・依頼についての調整・取りまとめ・・・など)を行います。小規模な組織のため、職員一人ひとりが様々な業務を担い、例えば、事業企画課職員は、若手職員も先輩職員のフォローを受けながら、研修の主担当となって研修運営等を行います。

理事長・理事・審議役



給与、勤務時間、休暇について

- 初任給：大卒 約255,200円 ※地域手当を含む
- 諸手当：規程に基づき、通勤・住居・扶養・超過勤務手当等が支給されます
- 昇給：年1回（1月1日）
- 賞与：年2回（6月、12月）
- 勤務時間：つくば 8：30～17：15 { ※各人の状況により、前後1時間程度、早出・遅出への勤務時間に変更も可能 }
- 休暇制度：休日：土日祝日、年末年始
休暇：年次有給休暇（1年間につき20日間付与）
（4月に新規採用の場合15日間）
特別休暇（リフレッシュ（連続3日）、結婚、出産、忌引き、ボランティア休暇等）
病気休暇（病気等により、療養が必要な場合）
育児休業、介護休業等

福利厚生について

- 各種保険等 : 文部科学省共済組合に加入
雇用保険、労災保険に加入
- 健康診断 : (年に1回) 定期健康診断を実施
その他、人間ドック(年齢の制約あり) 受診費用の一部補助
- その他 : 文部科学省共済組合の福利厚生制度が利用できます。

勤務地について

【つくば本部】

(所在地：茨城県つくば市)



「秋葉原駅」から「つくば駅」まで、
つくばエクスプレスで最短45分
→「つくば駅」から「NITS」までバスで25分

【東京事務所】

(所在地：東京都千代田区)



- ・「神保町」駅 徒歩5分
(東京メトロ半蔵門線、
都営地下鉄新宿線・三田線)
- ・「竹橋」駅 徒歩5分
(東京メトロ東西線)

東京駅からも
徒歩圏内です

よくいただくご質問について

Q1) 「つくば本部」と「東京事務所」の職員数、男女比を教えてください。
また、勤務地や配属先はどのように決まるのでしょうか？

⇒ 職員数は「つくば本部」に機能が集約されていて70人程度、
「東京事務所」は若干名（現在3名）ほどで、男女比は概ね同数です。
ただし、新規採用者の勤務先は「つくば本部」になります。
また、機構内の様々な業務を経験してもらうため、所属先については、
本人の希望も踏まえつつ、数年ごとの人事異動によって変わります。

Q2) 教員免許の所持や、教育に関する専門知識が必要ですか？

⇒ 採用時において、教員免許の所持・所有や、教育に関する専門知識については必要ありません。
なお、仕事を行っていく上で様々な専門知識が必要となることもありますが、採用後に職務に必要な研修を受けたり、OJT*等により仕事をしながら専門知識を身に付けることになります。

(OJT* : On the Job Training (オンザジョブトレーニング) の略)

NITS 理事長 荒瀬克己より

社会が大きく変化する中、また、度重なる自然災害や、新型コロナウイルス感染症の拡大といった経験したことのない状況の中で、子供たちそれぞれが、未来に向けて試行錯誤を重ねています。教職員は、その伴走者として、これまでの実績の蓄積を振り返りつつ継続的に学び続けていくことが求められています。

NITSは、学校を子供たちにとって意味のある学びの場とするために、教職員に対してどのように支援できるかを考え、取り組んでいかなければなりません。

中央教育審議会「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（R3.1.26答申）」には、「一人一人の子供を主語にする学校教育の目指すべき姿」が描かれています。一人一人の子供を主語にする学校を作るためには、一人一人の教職員が、さらには、一人一人のNITS職員が主語になり、やりがいをもって実行していく必要があります。

全国の教職員へのよりよい支援を行うためには、まずは、NITSが安心、信頼、満足できる職場でなければなりません。気づいたことを言い合える風通しのよい組織を作って、教職員の資質向上のための事業を全国に提供していけるようにと願っています。

NITSで一緒に働きませんか。